

375.9  
M614  
資料室

八部省著作

小學地理 三

發行所 日本書籍株式會社

教科  
31-  
2000

42727

教科書文庫

4
290.
31-1904
<del>20000</del>
<del>35780</del>

20003  
02763

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

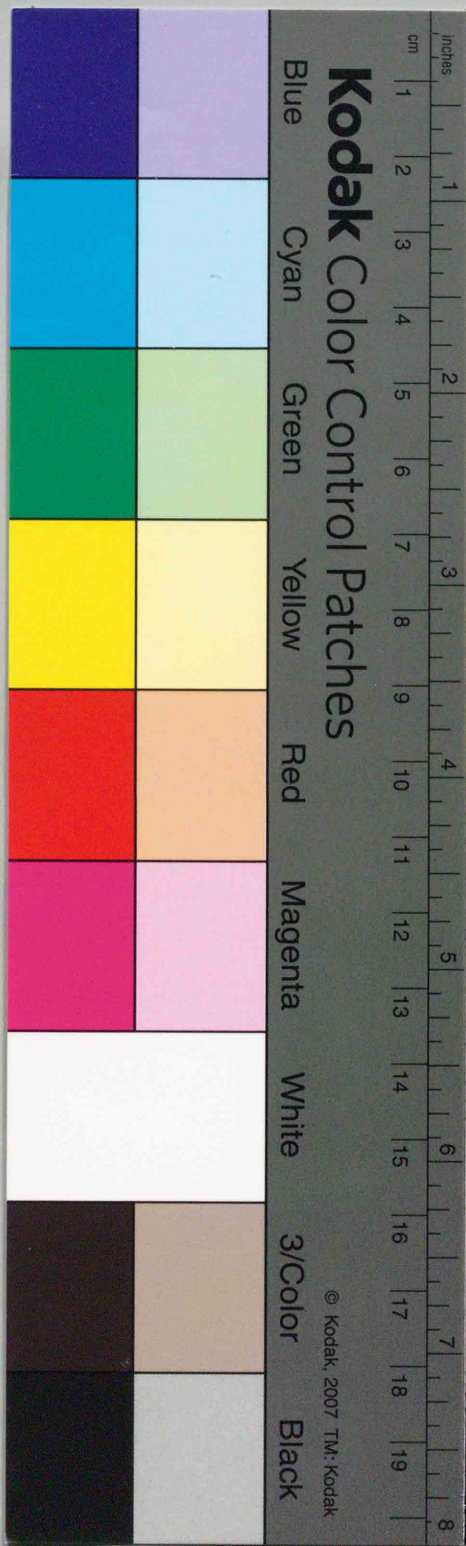
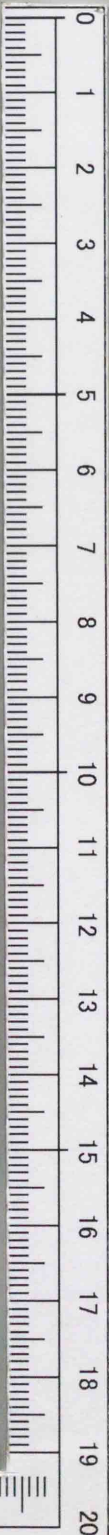


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



資料室

3759  
Mo14

教科書文庫

4

290

31-1904

2000302763

文部省著作

小學地理 三

發行所

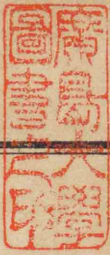
日本書籍株式會社



広島大学図書

2000302763





目録

第一	アジア洲	.....	一
	總論	.....	一
	アジヤロシヤ	.....	十五
	アジヤトルコ附アラビヤ	.....	十八
	印度	.....	二十
	印度支那	.....	二十三
	マライ群島	.....	二十六
第二	大洋洲	.....	二十七
第三	ヨーロッパ洲	.....	三十一
	總論	.....	三十一
	ロシヤ	.....	三十四
	デンマルク	.....	三十八
	ドイツ	.....	三十九
	スイス	.....	四十三
	フランス	.....	四十四
	オランダ	.....	四十八
	イギリス	.....	四十九
	イタリヤ	.....	五十四
	バルカン半島諸國	.....	五十七
第四	アフリカ洲	.....	六十
第五	北アメリカ洲	.....	七十
	總論	.....	七十
	カナダ	.....	七十四
	アメリカ合衆國	.....	七十六
	メキシコ	.....	八十一
	中央アメリカ諸國	.....	八十一
	西印度諸島	.....	八十一
第六	南アメリカ洲	.....	八十二

小學地理 三

第一 アジヤ洲

總論

位置  
アジヤ洲は、全部ほとんど赤道の北にあり。北は北氷洋に、東は太平洋に、南は印度洋に臨み、西はウラル山脈、裏海、黒海等によりて、ヨーロッパ洲に境し、西南わづかに、スエズ地峽によりて、アフリカ洲に連る。面積は、六大洲中、もとも大にして、わが國の百倍に餘れり。

面積  
山脈  
山脈のおもなるものは、パミル高原を中心として、四方に走る。東南にはヒマラヤ山脈、東には崑崙山脈、東北には天山山脈、西南にはヒンヅークシ山脈あり。

河流

(符號說明)  
 ◎首府(人口  
 一百万以上)  
 ○首府(人口  
 一百万未満)  
 ○都邑(人口  
 一百万未満)  
 山脉  
 本圖の縮尺は  
 一億分の一



河は、多く、北、東、南の三方に流る。オビ、エニセイ、レナの諸河は、北氷洋に入り、黒龍江、黃河、揚子江、メコン河は、太平洋に入り、ガンガ、インダス、チグリス、ユーフラトの諸河は、印度

氣候

洋に入る。

氣候は、おほむね、北に寒く、南に暑く、東南沿海の地方は、溫和にして、また、雨量に富めり。されど、内地は、寒暑の差多く、降雨稀にして、中央部より西南部にわたり、沙漠あひ連れり。

生物

生物は、氣候の影響を蒙るものなれば、各地、その趣を異にす。南部は椰子樹、芭蕉等、熱帯性の植物に富めども、極北にいたりては、わづかに苔類、灌木などを生ずるのみ。動物には、北部に馴鹿、白熊、貂などあり、象、獅子、水牛の類は、南部に限らる。

住民

住民の数は、八億に餘り、世界人口の半に過ぐ。その多數は、アジア人種に屬し、多く、東部に住めり。また、西南部には、ヨーロッパ人種に屬するもの多く、東南海中の諸島には、マライ人種に屬するもの多し。

宗教

宗教には、佛教、印度教、マホメット教、キリスト教等あり。佛教は、おもに、東部に行はれて、信徒はなはだ多く、マホメット教は、西部に、印度教は、印度に行はる。また、キリスト教は、各地に行はるれども、信徒の數多からず。

獨立國と西洋諸國の屬地

本洲には、わが大日本帝國のほかは、清、韓、シヤム、ペルシヤ等の獨立國あれども、わが國のほかは、いづれも、君主專制の政體にして、その國勢、多くは、盛ならず。その他は、たいてい、ヨーロッパの諸國に屬し、あるひは、その保護干涉を受く。

韓

位置 面積 人口

韓は、普通に、朝鮮といふ。アジヤ洲の東部にある半島國にして、日本海と黄海との間に出で、北は清國に連る。その面積、およそ、わが國の半にあたり、人口、およそ、五六百萬あり。北境に

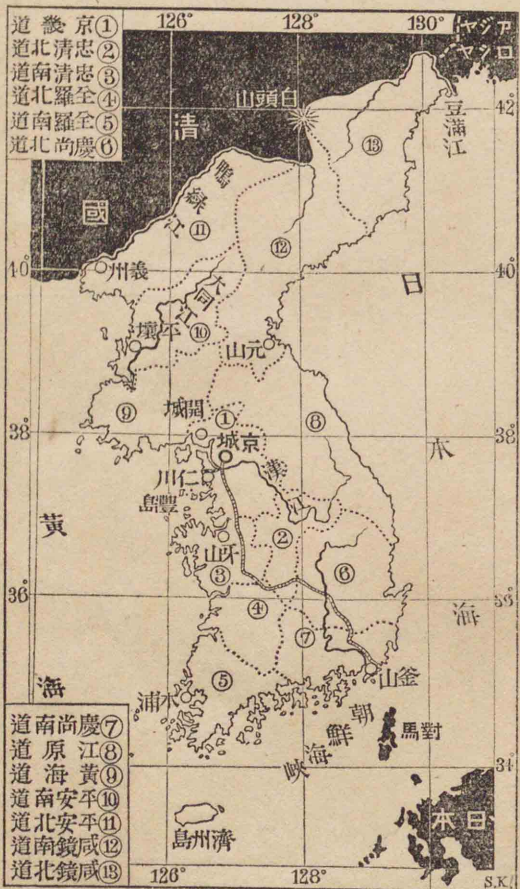
地勢

は、この國第一の高山なる白頭山あり。この地方、山岳重り、その脈、ひきて、半島の南端に及ぶ。西北境には、鴨綠江あり。

釜山浦

釜山浦は、國の東南端にあり。朝鮮海峽をへだてて、わが對馬に對す。嚴原より、わづかに、六十五海里をへだて、古來、わが國より、この國に入るの門戸となれり。こ

本國の縮尺は  
千萬分の一



とに、維新後、交通、ますます、繁く、今や、本

邦人の在留するもの一萬人に達す。

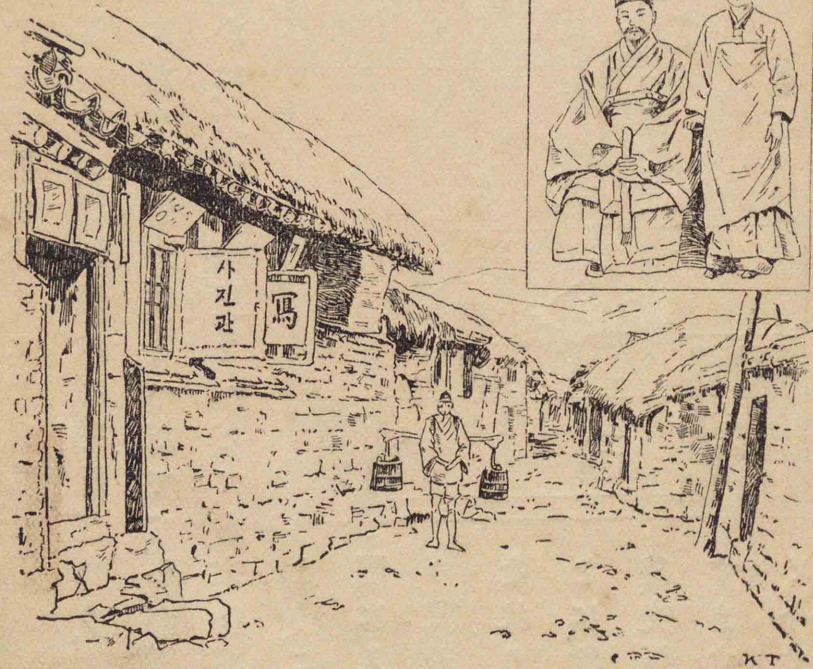
東岸には、元山津あり、西岸には、仁川港あり。元山の近海には、漁業の

元山津  
仁川港

利多く、仁川には、本邦人、多く、在留す。

京城

首府京城は、仁川の東北にあり、漢江の北岸に位す。この地



(城開)街市の韓と俗風の人韓

鐵道

と仁川との間に、京仁鐵道あり、釜山にいたる京釜鐵道とともに、本邦人の經營にかかるとる京釜

開城

平壤  
牙山

京城の西北に開城あり、人參の産多し。また、開城の西北、大同江の右岸に平壤あり、京城の南方なる牙山とともに、明治二十七八年戦役に關して、ことにあらはる。

氣候  
産物  
外國貿易

氣候は、一般に、寒暑ともに、強けれども、南部は、やや、溫和なり。産物には、米、大豆、牛皮、人參、砂金等あり。外國貿易は、おもに、わが國との間に行はれ、米、大豆を輸出し、綿糸、綿布を輸入す。

沿革

朝鮮半島は、太古より、わが國と關係深く、神功皇后の征韓以來、久しく、わが國に屬したりき。その後、多くの變遷を経て、今より五百餘年前(紀元二千)現今の王朝興り、國を朝鮮と號せしが、國力弱くして、支那に屬するが如き有様なりき。しかる

位置

に、わが國は、つとに、その獨立を認め、ついで、これをまつたうせしめて、東洋の平和を保たんがために、明治二十七年、つひに、清國と戦ふに至れり。この戦役の後、朝鮮は、國號を韓と改め、國王を皇帝と稱し、外觀上、その面目を一新せり。

清

清は、アジヤ洲の中部より、東部地方にわたれる國にして、普通、これを支那と稱す。その面積は、わが國の二十五六倍にあたり、支那本部、滿洲、蒙古、新疆、青海、西藏の六部に分る。地勢は、西に高く、東に低く、黄河、揚子江の二大河、東流して、海に入る。海岸には、出入少からず。中にも、渤海灣は、もとも、大いなる灣にして、遼東、山東の兩半島によりて、限らる。山東半島の北岸に芝罘港あり。芝罘の東なる威海衛は、遼東半島の南端な

渤海灣

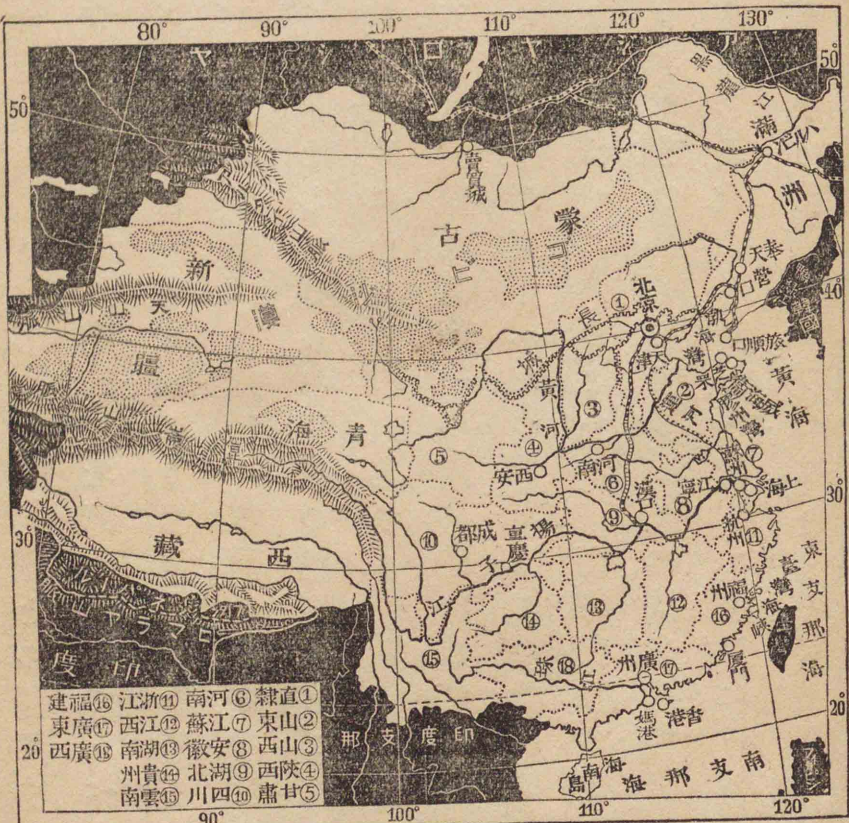
芝罘

威海衛と旅順口

(符號説明)

沙漠

本圖の縮尺は  
四千萬分の一



る旅順口とあひ對す。この兩地は、もと、清國著名の軍港にして、堅固なる砲臺ありしが、明治二十七八年戦役にあたりて、わが軍のために、攻め落されたり。國の東北部は、

滿洲 鐵道 奉天 營口 鐵道 天津 北京 鐵道

すなはち、滿洲にして、ロシア國との關係、すこぶる、困難なる所なり。東清鐵道、滿洲の北部を過ぎて、シベリヤ鐵道に連り、その支線は、ハルビンより分れ、奉天を過ぎて、營口、旅順口などにいたる。奉天は、清朝の祖廟のある所なり。營口は、普通に牛莊港として知られ、豆類の輸出多し。これより、また、天津を経て、北京にいたる鐵道あり。

天津は、清國北部第一の貿易港にして、わが長崎より、およそ、七百七十海里をへだつ。北京は、この國の首府にして、人口、およそ、百六十萬ありといふ。市街は、内城、外城の二部に分れ、ともに、城壁をめぐらせり。内城には、皇城、官衙あり、外城には、商店多し。北京より、黄河を渡りて、漢口にいたらんとする京漢鐵道あり。黄河の地方は、もとも、早く、開けたる所にして、支那

河南 西安 漢口 揚子江 重慶 成都



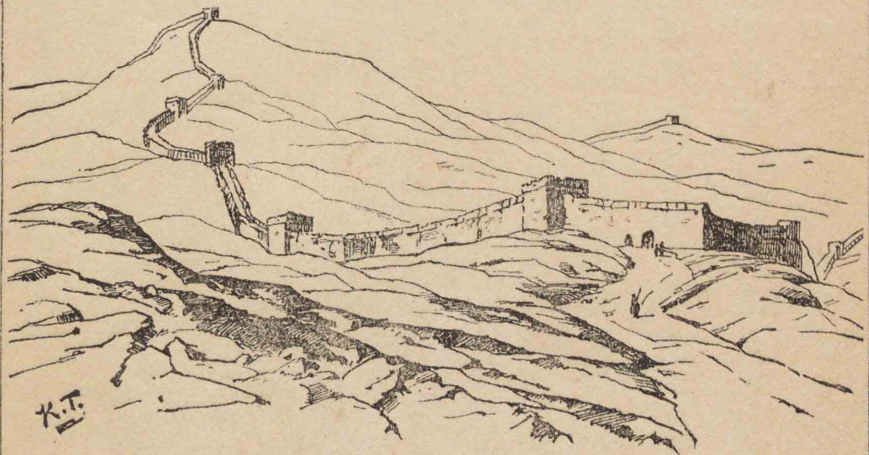
支那那婦人

ば、汽船の往來自由なり。江の岸には、漢口のほか、重慶、江寧など、數多の貿易港あり。重慶は、揚子江口を去る、およそ、六百里の上流にありて、將來、有望の所とす。成都是、その西北にあた

歴朝の帝都たりし地多し。史上に名高き洛陽は、今の河南にして、長安は、今の西安なり。漢口は、揚子江の岸にあり、内地商業の一大中心にして、茶の輸出多し。揚子江は、河幅は、なほ、だ、廣く、水量、きはめて、多けれ



江寧 上海 蘇州 大運河 杭州



萬里長城

る。江寧は、普通に、南京といひ、しばしば、帝都たりし所なり。揚子江口に近き上海は、わが長崎より、およそ、四百六十海里をへだつ。この國第一の貿易港にして、生糸、茶の輸出多く、綿布、阿片の輸入多し。その西北に蘇州あり。今より、およそ、千三百年前の大工事として有名なる運河は、天津に起り、黄河、揚子江を横ぎり、この地を経て、杭州にいたる。杭州は、蘇州とともに、絹布の産多

福州 廈門 香港 媽港 珠江 廣州 萬里長城 蒙古 戈壁沙漠 賣買城 新疆

し。上海より南方の海岸には、福州、廈門あり。ともに、臺灣海峡に臨み、わが臺灣との交通繁し。これより、西南の海岸に近く、香港あり、イギリス國に屬す。百貨の集散盛にして、わが國との取引、また、大いに行はる。媽港は、その西にあたる。ホルトガル國の領地なり。その北方、珠江の口に近き廣州は、普通に、廣東と稱し、清國南部の大都會にして、生糸、絹布の輸出多し。支那本部の北境には、有名なる萬里長城あり。今より二千百餘年前に成りたるものにして、大運河とともに、支那の二大工事なり。その北は、すなはち、蒙古にして、中部に戈壁沙漠あり。これを横ぎれば、北境に賣買城あり、アジャロシヤとの陸上貿易場なり。沙漠は、西にのびて、新疆に及ぶ。また、西南隅な

西藏

産物

外國貿易

住民

沿革

る西藏は、世界屈指の高原なり。

この國の東南部は、土地一般に肥えて、多く、茶、綿、蚕糸、米等を産す。わが國との貿易は、近頃ますます盛大におもむき、綿糸、石炭、ま、ち、水産物等の輸入多く、油糟、綿、豆類の輸出多し。住民の數は四億に餘り、勤勉にして、商業に巧なるもの多し。されど、阿片を好み、婦人の纏足をなすなど、悪しき風習あり。

支那は、世界中も、とも、早く開けたる地方の一にして、王朝の興廢多きこと、他に例少し。今の清朝は、およそ、三百年前（紀元二七七十）に、滿洲より興りて、一統の業をなしたるものなり。その國運、一時は、隆盛をきはめたりしが、後、しばしば、外交上に、失敗を重ねたり。六十餘年前（紀元二千九百九十九年）には、阿片賣買の事より、イギリス國と戦ひ、つひに敗れて、香港を失へり。その

後、あるひは、イギリス、フランス二國の連合軍に破られ、あるひは、ロシア國に、北境の地を割き、また、明治二十七八年には、わが國と戦ひて、臺灣を失へり。ついで、西洋の諸強國は、争ひ迫りて、おのれに利益ある條約を結び、おのおの、租借地を得たり。中にも、ドイツ國の膠州灣、ロシア國の旅順口、イギリス國の威海衛の如きは、いちじるし。また、明治三十三年、北清の變亂ありて、外交上、困難なる事件をひきおこすに至れり。

アジヤロシヤ

位置

シベリヤ

アジヤロシヤは、廣く、アジヤ洲の北部より、西北部にわたり、ただちに、ヨーロッパロシヤに連る。分ちて、シベリヤ、中アジヤ、コーカシヤの三部となす。

シベリヤは、清國の北に連り、西北部は、一大平原をなす。面積

カムチツカ  
半島  
カラフト島  
オホーツク  
海

ウラヂオス  
トック

シベリヤ鐵  
道

バイカル湖

キヤクタ

トムスク

およそ、わが國の三十倍にあたり、東部、太平洋の沿岸には、カムチツカ半島、カラフト島ありて、わが北海道とともに、オホーツク海を抱く。この海には、水産物はなほだ、多し。カラフト島の西南に日本海あり。その岸に、ウラヂオストック港あり。敦賀より、およそ、五百海里をへだつ。この地は、シベリヤ第一の貿易港にして、わが國との間に、定期航海あれども、冬は、港内凍りて、船舶の出入を妨ぐ。シベリヤ鐵道、この地より起り、東清鐵道に連りて、滿洲を横ぎり、それより、バイカル湖邊に出で、イルクツクを経て、遠く、ヨーロッパ洲に通ず。バイカル湖の南方にキヤクタあり、清國の賣買城に對する陸上貿易場なり。トムスクは、オビ河の上流地方にありて、イルクツクとともに、シベリヤ重要の都會なり。

氣候

産物

中アジヤ

裏海

タシケント

コーカシヤ

バク

沿革

シベリヤは、一般に、寒きはなほだしく、レナ河下流の地方は、世界最寒の地なり。南部には、沃野多く、樹木、よく、茂りたる所ありて、金、銀、穀類、毛皮等の産物少からず。中アジヤは、シベリヤの西南に連り、東南部には、パミル高原あり、西は、裏海をへだてて、コーカシヤに對す。鐵道、裏海の岸より東に向ひ、この地方第一の都會なるタシケントに通ず。コーカシヤは、黒海と裏海との間にあり、コーカサス山脈、その中央にわたる。裏海の岸にバクあり、多く、石油を産す。ロシヤ國が、シベリヤに侵略をはじめしは、三百餘年前(紀元二千四百年頃)の事なりき。その後、しだいに、地を東方に廣め、今より四十餘年前、清國と條約を結びて、黒龍江以北と日本海沿海の地とを得たり。また、これと前後して、中アジヤの地方をも

占領せり。かくて、ロシア國は、これ等の地を根據として、さらに、大いに、東方の經營につとめつつあるなり。

アシヤトルコ附アラビヤ

位置  
 アシヤトルコは、アシヤ洲の西端にあり。小アジア、シリヤ、メソポタミヤ等の地方をふくみて、アラビヤ半島の兩岸に及び、西北は、海峽をへだてて、ヨーロッパに對す。小アジアは、黒海と地中海との間に突き出でたる半島にして、西岸のスマイルナは、アシヤトルコ第一の都會なり。シリヤは地中海東岸の地にして、昔、宗教史上に名高きユダヤ國のありし所なり。そのエルサレムには、キリスト教祖キリストの墓あり。メソポタミヤは、東南部の沃野にして、チグリス、ユーフラト兩河の地方にあり、太古早く、開けし所なり。

位置  
 小アジア  
 シリヤ  
 スミルナ  
 ユダヤ國  
 エルサレム  
 メソポタミヤ

アラビヤ  
 氣候  
 産物  
 メチナ  
 アデン  
 オーマン  
 位置

本圖の縮尺は四千萬分の一



アラビヤは、大部、沙漠にして、氣候は、なほ、だ、暑く、馬、こゝひ等の名産あり。紅海の岸のトルコ領なるメチナには、マホメット教祖マホメットの墓あり。紅海の口に近きアデンは、イギリス國に屬し、ペルシヤ灣の口には、オーマンの小國あり。

イラン地方  
 イラン地方は、アシヤトルコの東に連り、土地、一般に、

區分  
 ペルシヤ  
 テヘラン  
 アフガニス  
 タン  
 カブール  
 ヘラット  
 ベルチスタ  
 ン  
 位置  
 面積  
 人口  
 ヒマラヤ山  
 脈  
 エベレスト  
 山

高原をなして、内地には沙漠多し。分れてペルシヤ、アフガニスタン、ベルチスタンの三部となる。ペルシヤはその西部にあり、獨立國なれども、國勢振はず。首府をテヘランといふ。アフガニスタンは、東北部にあり、また、獨立國の名あれども、イギリス、ロシア兩國の干渉を受くること多し。首府をカブールといふ。國の西北隅に近きヘラットは、隊商交通の要路にあたる。ベルチスタンは、東南部にあり、全部、ほとんど、イギリス國に屬す。

印度

印度は、清國の西南に連り、一大半島をなして、印度洋中に出づ。面積わが國の十倍に過ぎ、人口三億に近し。北境には、ヒマラヤ山脈あり。山脈中のエベレスト山は、高さ、三萬尺に近く、

ネパール  
 ブータン  
 デカン高原  
 ガンガ河  
 インダス河  
 本圖の縮尺は  
 四千萬分の一

世界第一の高山なり。山脈の間に、ネパール、ブータンの二小國あり。南部は、一般に、高原をなす、これをデカン高原といふ。東北部には、廣き沃野あり、ガンガ河、この地方を流れて、ベングアル灣に入る。西北部なるインダス河の附近には、沙漠連れり。ガンガ河の流



デリー  
ベナレス  
カルカッタ  
ボンベ  
マドラス  
セイロン  
コロンボ

に沿ひて、デリー、ベナレスなどの名高き都會あり。下流地方のカルカッタは、印度の首府にして、人口百萬に過ぎ、貿易盛に行はる。デカン地方の西岸にボンベの良港あり、綿の輸出多く、そのわが國に來るもの、少からず。東南岸のマドラスは、また、著名の貿易港なり。半島の南端に近く、セイロン島あり。その西岸なるコロンボは、印度洋航海の要路にあたる。ヒマラヤ山地のほかは、氣候一般に、暑く、夏日、雨多し。産物には、綿、阿片、米、茶、こゝひなど多し。外國貿易は、すこぶる盛にして、わが國との取引も、しだいに増加し、綿、藍をわが國に送り、石炭、羽二重、ま、ち等を輸入す。印度は、古代において、大いに、文明に進み、ことに、佛教の祖釋

氣候  
産物  
外國貿易

沿革

印度支那

迦の出生地として名あり。今より四百餘年前(紀元二千五百)、ポルトガル人、海を航してこの國に來りしより、このかた、ヨーロッパ人、しだいに、來航せしが、中にも、イギリス人、も、とも、勢力を得て、つひに、その政權を握るに至れり。後、イギリス政府は、總督をカルカッタに置きて、これを治めしむ。

位置

印度支那は清國の南に連りて、印度とともに、東西の二大半島をなし、その南部には、さらに、マライ半島の突出するあり。分れて、ビルマ、海峽殖民地、シヤム、フランス領印度支那の四部となる。

ビルマ

ビルマは、主として、イラワヂ河の流域を占む。この地は、も、と、一の獨立國なりしが、數回、イギリス國の侵略を受けて、國、つ

本圖の縮尺は  
四千萬分の一

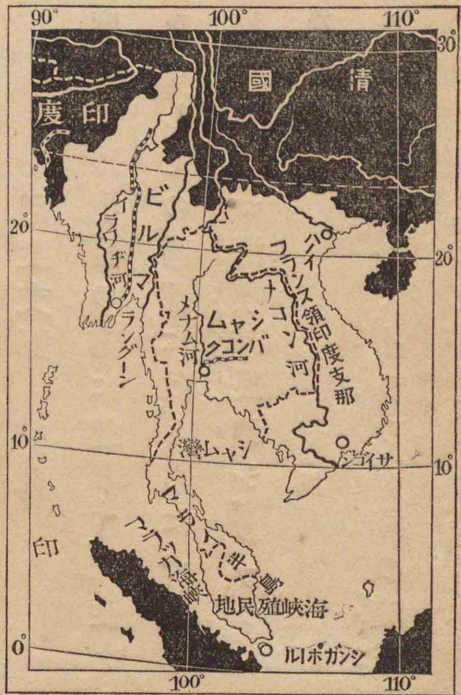
海峽殖民地

シンガポ  
ール

シヤム

バンコク

シヤムの沿  
革

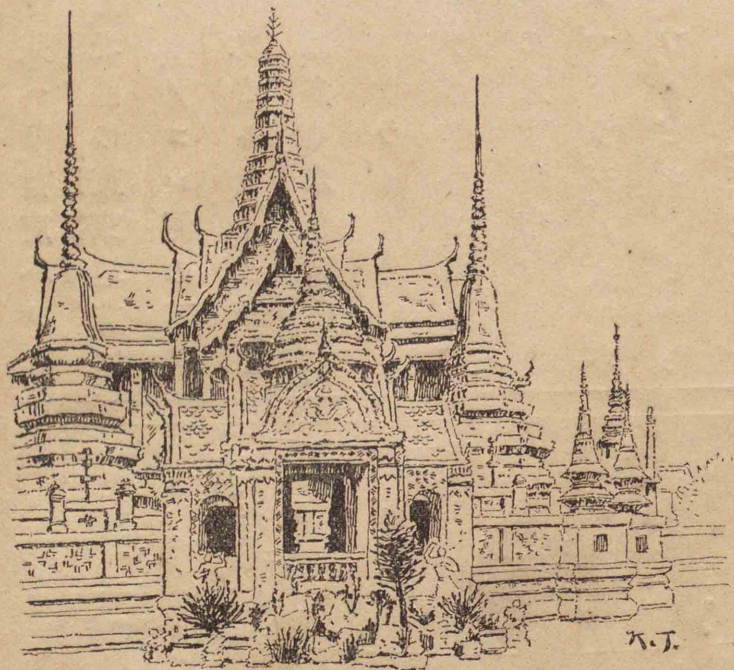


島の南部にあり、イギリス國に屬す。その南端のシンガポ  
ールは、東西交通の關門かんもんにして、貿易盛なり。

シヤムは、主として、メナム河の流域りゅういきを占め、印度支那中、唯一ゆいいつの  
獨立國なり。首府バンコクはメナム河の下流にあり。この國  
は、わが徳川時代のはじめに、山田長政といふものの、戦功を

ひに、亡び、今や、印度  
とともに、同じ總督  
の支配を受く。イラ  
ワヂ河の下流地方  
にラングーンあり、  
米の輸出多し。海峽カイキョウ  
殖民地は、マライ半

フランス領  
印度支那



シヤムの殿堂

立てし所なり。その後、たびたび、興廢きふいありて、百二十餘年前紀元  
二十四年百に、今の王

朝興おこれり。

フランス領印度支  
那は、シヤムの東に連  
り、南支那海に面す。  
この地には、もと、安アム  
南、カンボヂヤ等の  
獨立國ありしが、し  
ばしば、フランス國  
のために削けられて、  
いづれも、その獨立

ハノイ

を失へり。首府ハノイは、北部の東京地方にあり。メコン河の下流地方なるサイゴンよりは、多く、米を輸出す。

サイゴン

マライ群島

マライ群島は、印度支那の東南海中にあり、スマトラ、ジャバ、ボルネオ、フリピンなど、いちじるしく、住民には、マライ人種に屬するも

位置

本圖の縮尺は  
四千萬分の一



バタビヤ

の多し。マライ群島の大部は、オランダ國に屬し、その首府バタビヤはジャバ島にあり。この島も、ともよく、開けて、砂糖の産多し。ボルネオ島の北部には、イギリス國の領地あり。その東北なるフリピン群島は、もと、イスパニヤ國に屬せしが、近年、アメリカ合衆國の領地となれり。その中、ルソン島も、とも、大なり。西岸のマニラには、砂糖、煙草等の輸出多し。

ジャバ島

ボルネオ島

フリピン群島

ルソン島

マニラ

### 第二 大洋洲

位置

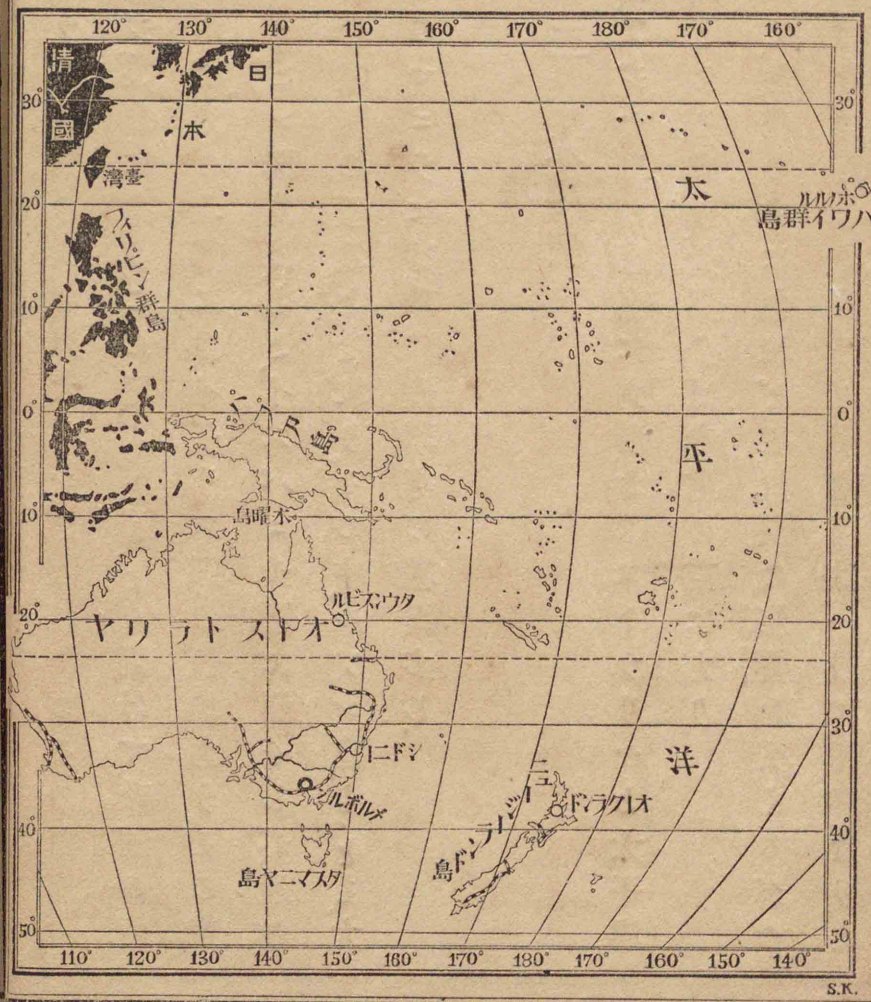
大洋洲は、アジヤ洲の東南にあり、オーストラリヤと太平洋中の諸島とより成り、大部分は赤道の南にあり。その地、多く、熱帯の中にあれども、海風の影響を受くるがゆゑに、氣候は、なほ、だしく、暑からず、南部は、一般に、溫和なり。た

氣候



本圖の縮尺は  
八千萬分の一

だ、オー  
ストラ  
リヤの  
内地は、  
寒暑の  
差多く、  
降雨は  
なはだ、  
少し。  
オース  
トラリ  
ヤは、全



オーストラ  
リヤ

タウンスピ  
ル  
シドニー  
メルボルン

動植物

部、イギリス國に屬す。その面積、およそ、五十萬方里に及び、大陸中の最小なるものなり。その東北岸にタウンスピル港あり。近傍には、本邦人在留し、農業をなすもの多し。シドニー、メルボルンの二港は東南岸にあり。これ等の諸港を通じて、わが國の汽船の航路開けたり。ことに、シドニー、メルボルンは、鐵道の便、よく、そなはりて、金、羊毛の輸出盛なり。

オーストラリヤには、かんがるー、鴨嘴獸など、他に類なき動物多く、植物にも、珍しきもの少からず。また、牛、羊、小麥の如きは、ヨーロッパより移ししものなれども、今は、そ



鑛物  
沿革

の産額はなほだ、多くなれり。鑛物には、金、銅、石炭などあり。オーストラリアは、イスパニヤ人、オランダ人によりて、はじめて探検せられ、やうやく、世に知らるるに至りしが、百二十餘年前より、イギリス人、大いに、これが探検殖民に従事し、つひに、これを占領せり。ことに、五十餘年前、金鑛の發見ありてより、その殖民事業に、大いなる進歩を促し、近來、各殖民地は、その東南近海なるタスマニヤ島とともに、聯邦を組織するに至れり。

ニュージーランド

オーストラリアの東南海中に、遠く、離れて、ニュージーランド島あり。また、イギリス國に屬す。ニュージーランド島の北岸なるオークランドには、羊毛、凍肉などの輸出多し。

ドオークランド  
パプア

オーストラリアの北に、パプア島あり、一にニューギネアとい

ハワイ群島

ふ。イギリス、オランダ、ドイツの三國これを分領す。このほか、太平洋中の諸小島は、また、たいてい、ヨーロッパ、アメリカの諸國に分領せらる。ハワイ群島は、その最東北にあり、近時、また、アメリカ合衆國に合せらる。氣候温暖にして、多く、砂糖を産し、本邦人の在留するもの六萬人に餘れり。首府ホノルルは、わが横濱の東方、およそ、三千四百海里をへだて、太平洋交通の要路にあたる。

ホノルル

位置  
面積

ヨーロッパは、アジアの西に連り、北は北氷洋に臨み、西は大西洋に面し、南は地中海をへだてて、アフリカ洲に對す。面

### 第三 ヨーロッパ洲

總論

海岸

積は、アジア洲の四分の一に足らざれども、海岸には、出入多  
く、交通の便に富めること、他の大陸に類少し。北には、スカン  
ヂナビヤ半島あり。南には、イベリヤ、イタリヤ、バルカンの三  
半島あり。近海には、島嶼多し。

山脈

本洲の西南部には、山脈重り、<sup>かさな</sup>東北部より北部にわたりては、  
平原連れり。山脈の、もとも、大なるは、アルプにして、その脈、の  
びて、アペニン、カルパチヤ等の山脈に連る。また、西方には、ピ  
レネー山脈あり、北方には、スカンヂナビヤ山脈あり。河流に  
は、ボルガダニュープ、ラインなど、いちじるし。ボルガ河は、も、と  
も、大にして、東部平原を流れ、裏海にそそぐ。ダニュープ、ライン  
の兩河は、源を西南部の山地に發し、一は東に流れて、黒海に  
入り、一は北に流れて、北海にそそぐ。ともに、舟航の便多し。

河流

氣候

本圖の縮尺は  
五千萬分の一



本洲は、大部、北温帯に位  
し、かつ、その西部は、海洋  
の影響を受くること、割  
合に、多ければ、氣候、温  
和にして、これを、他の同緯  
度の地に比するに、すこ

ぶる、暖なり。されど、西より東にいたるに従ひ、寒暑の差、しだいに増加す。

本洲は、六大洲中、もともと、文明に赴きたる所にして、その諸國は、國勢、たいてい、盛なり。その中、ロシヤ、トルコのほかは、おほむね、立憲政治を行ひ、中には、國民より選ばれたる大統領を戴ける共和國もあり。人口、およそ、三億八千萬、ヨーロッパ人種に屬するもの多く、東部、北部には、また、アジア人種に屬するものもあり。宗教は、おもに、キリスト教行はれ、バルカン半島地方には、マホメット教を信ずるもの、また、少からず。

ロシヤ

ロシヤは本洲東北の大部を占め、ウラル山脈、その東境にあり。北は北氷洋に面し、西はバルト海に臨み、南に裏海、黒海あり。

位置

政治

住民

面積

人口

ペテルブルグ

シベリヤ鐵道

モスコ

クリミヤ半島

り。面積は本洲の二分の一に過ぎ、アジアロシヤの地を加ふれば、わが國の五十倍に達し、人口一億三千萬に近し。地勢、一般に、平かにして、西北部には、湖水多し。

首府ペテルブルグは、バルト海の一灣に臨み、貿易、盛に、行はる。人口百四十餘萬あり。鐵道の、この地より起りて、東南に進み、モスコを経て、さらに、シベリヤ鐵道と連絡し、遠く、太平洋岸に通ずるあり。わが長崎を出で、旅順口に上陸して、この鐵道の便によらば、わづかに、二十日ばかりにして、ペテルブルグにいたるべく、海路によるに比して、半月以上を減ずるを得べし。モスコは、國の中央に位す、この國の舊都にして、宮殿寺院の壯麗なるものあり、商工業、盛に、行はる。

黒海に突き出でたるクリミヤ半島には、セバスト・ホル軍港

オデッサ

(符號説明)  
○都邑(人口  
一百万以上)  
本圖の縮尺は  
四千萬分の一

氣候

産物



に、はげしく、冬は、河水凍りて、舟航の便を失ふ。北部は、凍野にして、樹木乏しけれども、中部より南には、肥沃の地多く、材木、穀物、麻等を産す。

あり。その西北にあたるオデッサは、盛なる貿易港なり。

この國は、平野、廣く、わたり、海に面すること少きがゆゑに、氣候、寒暑とも

沿革

位置

ストックホルム  
クリスチア  
ニヤ  
氣候

この國が、大いに、隆盛に赴きしは、わづかに、二百餘年前にして、ペテロ大帝出でて(紀元二千三百年)、新都ペテルブルグに移り、内治を改良し、外征に成功したるには、はじまる。その後、ますます、地を四方に開き、つひに、現今の如く、ヨーロッパ、アジアの兩大洲にわたりて、廣き版圖を有する強國となるに至れり。

スエーデン ノルウェー

スエーデン、ノルウェーの兩國は、ともに、スカンディナヴィヤ半島にありて、同一君主を戴く。その西北部、ノルウェーの方は、スカンディナヴィヤ山脈海に迫り、海岸ははしくして、小出入多し。スエーデンの首府ストックホルムは、バルト海に臨み、風景はなほ、だよし。ノルウェーの首府をクリスチアニヤといふ。半島の西南岸にある良港なり。氣候は、兩國、その趣を異にす、スエ

本圖の縮尺は  
二千分の一



産物

ンには、良質の鐵を産し、ノルウェーには、海産物はなほだ、多し。また、兩國ともに、木材を産す。

デンマーク

ーデンの方は、すこぶる、ロシア國に類し、バルト海氷結の憂あり。ノルウェーの方は、やや、溫和にして、つねに、航海の便あり。スウェー

位置

産物  
ゲン  
ペン  
ハー

アイス  
ラン

位置

面積  
人口

河流

デンマークはバルト海と北海との間にあり、ユトランド半島と、その近傍の諸島とより成る。地勢一般に、低く、平かにして、穀物、牛酪の産多し。首府コペンハーゲンは、國の東部なる島上にあり、スエーデンの南端と、狭き海峡をはさみ、バルト海出入の要所にあたる。遠く、西北の洋中に離れて、アイスランド島あり、この國に屬す。島に名高き間歇温泉あり。

ドイツ

ドイツはロシアの西に接し、北はバルト海と北海とに臨む。面積は、わが國より、廣きこと、その四分の一に及び、人口、また、やや、わが國に過ぐ。その地、南に高く、北に低く、ライン、エルベ、オーデル等の河流、いづれも、北流す。

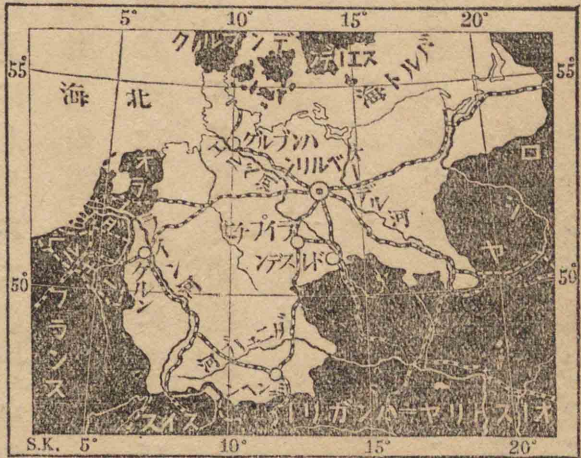
ハンブルグ  
ベルリン  
本圖の縮尺は  
二千萬分の一

ライプチヒ  
ドレスデン

ケルン

ミュンヘン

産物



路にあたり、南部のミュンヘンには、多く、ビールを産す。  
國內、鐵、石炭に富み、鐵器の産出多し。その他、穀類、砂糖、びーる、葡萄酒、毛織物、藥品等を産す。

エルベ河の下流地方には、本洲著名の貿易港なるハンブルグあり。首府ベルリンはその東南にあたり、人口、およそ、二百萬に及ぶ。有名の大學生あり。ベルリンの西南なるライプチヒには、書籍の出版盛にして、南方なるドレスデンには、美術、工藝盛なり。また、國の西部、ライン河に沿へるケルンは、交通の要

沿革

この國は、二十餘の聯邦より成り、その一なるプロシヤ國王、兼ねて、ドイツ皇帝たり。プロシヤ國には、四十餘年前(紀千五百一十一年)ウイヘルム一世といふ英主出て、ビスマルクの如き名士を用ひ、大いに、政治、兵制を改良し、しばしば、外國との戰に勝利を得しかば、三十餘年前に、推されて、ドイツ皇帝の位にのぼれり。これより、ドイツ國、大いに、興り、國內、教育普及し、商工業、また、盛にして、今や、海外に、廣き領地を有し、ヨーロッパ強國の一に數へらる。

オーストリアーハンガリー

オーストリア、ハンガリーの兩國は、ドイツの東南にあり。聯合して、同一の君主を戴く。オーストリアの一部、わづかに、アドリア海に臨み、面積、二國を合せて、およそ、わが一倍半あり。

面積

位置

ウィーン

ブダペスト

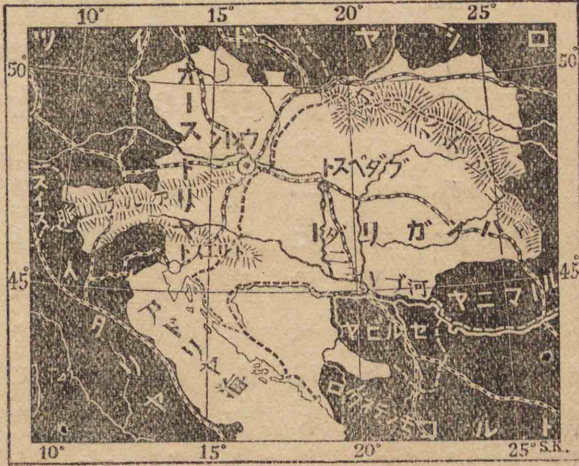
本圖の縮尺は  
二千萬分の一

トリエスト

氣候

産物

沿革



オーストリアの首府ウィーンは、ダ  
ニューブ河に沿ひ、およそ、百七十萬  
の人口を有す。その東南にあたり  
て、ハンガリーの首府ブダペスト  
あり、ダニューブ河にまたがる。また、  
アドリア海に臨みて、トリエスト  
の良港あり。

氣候は、一般に、寒暑の差多く、ただ、  
アドリア海岸の一部は溫和なり。

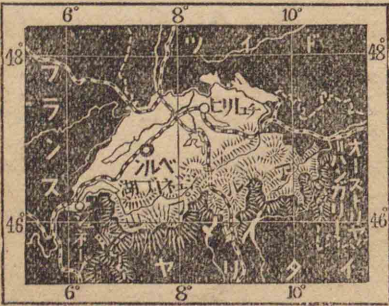
産物には、穀類、砂糖、木材、がらす、葡萄酒、羊毛等あり。

オーストリアは、かつて、ドイツ諸邦の盟主として、勢力あり  
しが、フランス皇帝ナポレオン一世のために破られてより

ドイツにおける權力、すこぶる、衰へたり。かくて、およそ、四十  
年前(紀元二千五百年)プロシヤ國と戦ひて、大敗せしより、全く、ド  
イツ諸邦との關係を離れたり。ついで、ハンガリー王國との  
聯合成り、現今、ヨーロッパ強國の一に數へらる。されど、その國  
民には、數多の種族ありて、統一の政治を行ふに、すこぶる、困  
難なる事情ありといふ。

スイス

スイスはオーストリアの西に連り、數多  
の聯邦より成れる山間の小共和國なり。  
アルプ山脈、國內にわたれども、山をうが  
ちて鐵道を設け、交通の便、よく、そなはれ  
り。その南境には、名高き大とんねるあり。



位置

本圖の縮尺は  
千萬分の一

交通



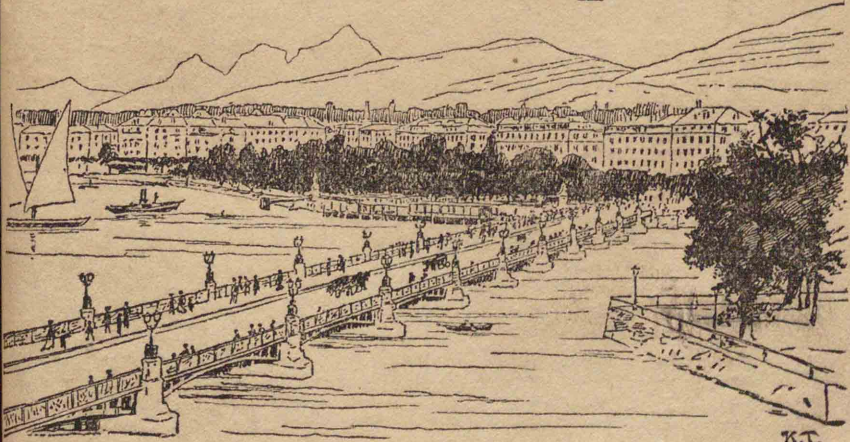
風景

国内には、西南部なるジュネーブ湖をはじめとして、湖水に富み、風景の美なること、世界に名高く、他國人の來遊するものはなはだ、多し。首府ベルンは國の西北部にあり。北部なるチューリヒは、この國工業の中心にして、絹織の産あり。ジュネーブはジュネーブ湖口に臨み、時計の製造盛なり。

フランス

位置

フランスは、ドイツ、スイスの西に連り、西は大西洋に、南は地中海に



街市ブーネジュ

面積

人口

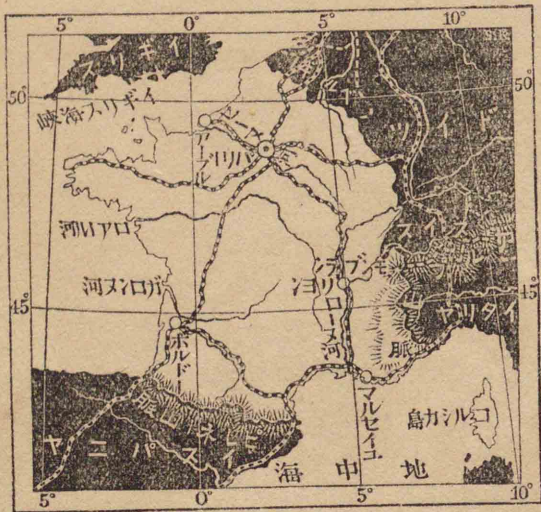
モンブラン

少し。國の東南境なるアルプ山脈中のモンブランは、高さ、およそ、一萬六千尺に及び、本洲第一の高山なり。首府パリイは、國の北部に位し、セーナ河にまたがる。人口、二百七十餘萬あり。市街清潔にして、壯麗なる建築物多し。パリイの西北にあたりて、セーナ河口に、アーブルあり、著名の貿易港なり。また、西南部なるガロンヌ河の下流に、ボルドーあり、葡萄酒の輸出多し。地中海岸のマルセイユは、貿易盛にして、横濱よ

アーブル

ボルドー

マルセイユ

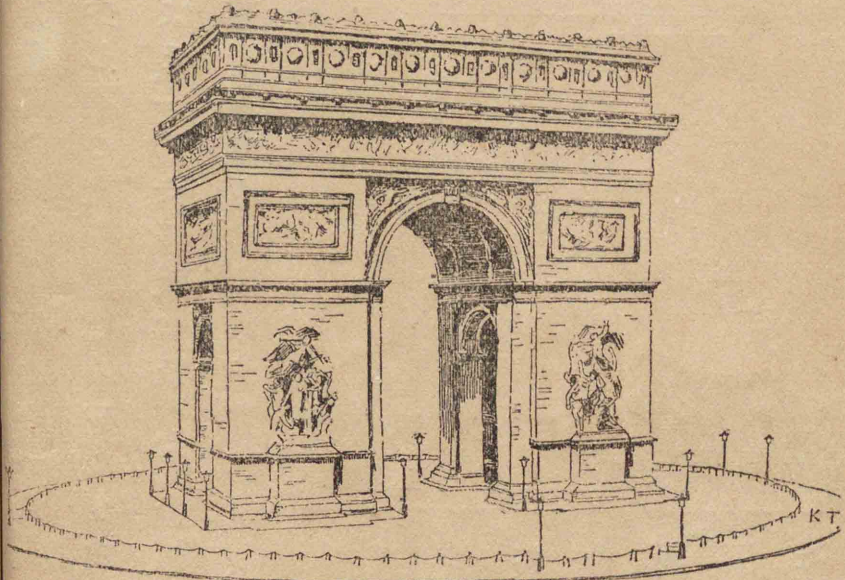


リヨン

コルシカ島

氣候

産物



パリ凱旋門

リ海路九千四百海里をへだて、わが國の汽船の航路にあたる。その北方にリヨンあり、ローヌ河にまたがり、絹布の製造地としてあらはる。マルセイユの東南海中にコルシカ島あり。國內、氣候溫和にして、諸種の農産物に富み、絹織物、葡萄酒等の輸出、はなはだ、多し。また、わが國よ

沿革

り、多く、生糸、羽二重を輸入す。

この國には、百十餘年前(紀元二千四年)革命起りて、從來の王政を廢し、混乱を極めしが、ナポレオン出でて、外征に大功を立て、つひに、國內を統一して、皇帝の位にのぼれり。パリーの凱旋門は、その外征戰勝の紀念なり。ナポレオンは、勢に乗じて、全ヨーロッパ洲を併呑せんとせしが、つひに、列國連合軍のため、破られたり。その後、また、數回の革命を経、わが明治三年、プロシヤ國との戰爭に敗れて後、今の共和國興れり。今や、海外に、多くの領地を有して、ヨーロッパ強國の一に數へらる。

ベルギー

ベルギーは、フランスの東北にある小國にして、西北、わづかに、北海に臨む。面積、わが九州よりも、狭く、土地、たいてい、低し。

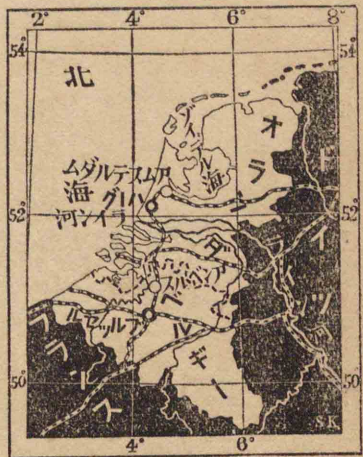
面積

位置

ブルッセル  
アンベルス

本圖の縮尺は  
千萬分の一

産物



はる。その、鐵道の便に富めると、面積に比して、人口の多きとは、他に類稀なり。

オランダ

位置  
面積  
海岸  
産物  
アムステル  
ダム

オランダは、ベルギーの北に連り、北海に臨みて、ゾイデル海を抱く。面積は、ベルギーと同じく、土地、また、低く、海岸には、堤防を設けて、海水の侵入を防ぐ所多し。國內、農、商の業、盛に行はれ、多く、牛酪を輸出す。ゾイデル海に臨めるアムステル

ハーグ

沿革

ダムは、著名の貿易港なり。その西南にあたり、海岸に近く、首府ハーグあり。

この國は、今より三百餘年前(紀元二千二百年)に、イスパニヤ國より獨立して、大いに、航海の業を奨励し、つひに、東洋貿易をその一手に握るに至りたりき。わが徳川幕府が、海外との交通を嚴禁せし時にも、ただ、この國人のみには、特別に、貿易を許したりき。かくて、一時は、海外に廣大なる領地を有し、國勢、大いに、榮えたりしが、後、やうやく、衰へたり。

イギリス

位置  
氣候

イギリスは、イギリス海峡をへだてて、近く、フランスに對し、大ブリテン、アイルランドの二大島と、數多の島嶼とより成る。氣候は、海洋の影響を受けて、その地が、北にかたよれる割

面積  
人口

本圖の縮尺は  
二千萬分の一



合に、溫和なり。面積、人口は、ともに、わが國より、やや、少けれども、海外の廣き領地を合せば、世界陸地の五分の一にも及び、人口四億に達すべし。

地勢

大ブリテンの北部には、山地多く、東南部には、平野連れり。テムス河、この平野を流れて、北海に入る。

ロンドン

首府ロンドンは、テムス河の下流にまたがり、人口四百六十萬あり、その町つづきの人口を合せば、六百七十萬に達すべし。市街繁華にして、テムス河上のロンドン橋には、毎日五十萬人の通行ありといふ。實に、世界第一の大都會なり。ま

オックスフォード  
ケンブリヂ  
リバプール  
マンチェスター  
グラスゴー

た、この地は、盛なる貿易港にして、世界商業の大中心なりと稱せらる。横濱より一萬千二百海里をへだて、わが國の汽船の航路にあたり。ロンドンの西北にあたる、オックスフォードと、北方なるケンブリヂとは、ともに、名高き大學あり。中部地方の西岸なるリバプールは、この國第二の貿易港にして、綿の輸入多く、綿布の輸出多し。綿布は、多く、その東なるマンチェスターにて、製造せらる。また、北部地方の西岸には、グラスゴーあり、造



橋 ン ド ン ロ

エジンバラ  
ダブリン

産物  
わが國との  
貿易

沿革

船業に名高く、東岸にはエジンバラあり、學術盛なり。アイルランドの東岸には、ダブリンあり、海をへだてて、はるかに、リバプールに對す。

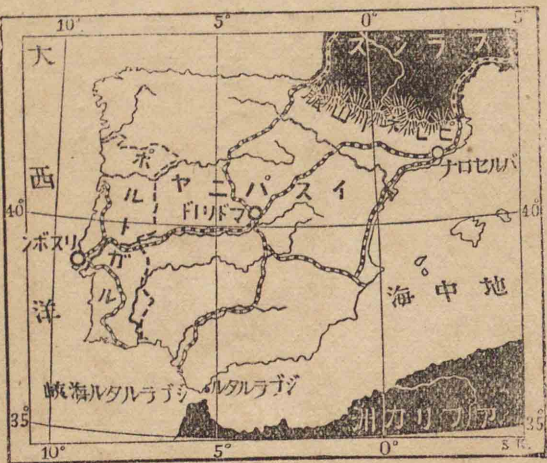
國內はなほだ、鐵、石炭に富み、工業、いたる所に、盛にして、綿布、麻布、毛織物、機械等の製造多し。わが國は、これ等の物品を、この國より、輸入すること、少からず。

この國は、三百餘年前(紀元二千二百四十八年)、イスパニヤ國の海軍を破りてより、やうやく、勢力を得、つひに、オランダ國に代りて、海上の權力を握るにいたれり。それより、世界、いたる所に、領地をひらき、その、海軍力の強きと、外國貿易の盛なると、領地の廣きとは、いづれも、他國の及ばざる所となれり。明治三十五年一月、わが國は、この國と同盟し、極東の事件につきて、たが

ひに、あひ助くべきことを約せり。

イスパニヤ ポルトガル

位置  
地勢  
氣候  
産物  
本圖の縮尺は  
二千萬分の一  
マドリード  
バルセロナ



イベリヤ半島は、ピレネー山脈を境として、フランスの西南に連る。中に、イスパニヤ、ポルトガルの二國あり。地勢、一般に、高原をなし、中央部は寒暑、ともに、強く、西部沿海の地は、氣候溫和にして、降雨多し。産物は、銅、鐵、葡萄酒などを、おもなるものとす。

イスパニヤの首府マドリードは、國の中央にあり。東北部、地中海岸には、この國第一の貿易港なるバルセロナあり。

リスボン  
ジブラルタ

ポルトガルの首府リスボンは、西海岸にあり。安全なる良港にして、葡萄酒の輸出多し。  
半島の南端なるジブラルタルは、イギリス國に屬し、狹き海峡をへだてて、アフリカ洲に對す。ここに、有名なる砲臺ありて、地中海の西口を守る。

沿革

この二國は、およそ、四百年前には、ヨーロッパ諸國中航海業の、もとも、盛なりし國にして、海外に、廣き領地を有し、盛に、これに殖民したりき。されど、その後、オランダ、イギリスの二國に壓倒せられて、國勢、しだいに、衰へ、多く、その領地を失へり。

イタリア

位置  
地勢

イタリアは、イタリア半島と、シシリー、サルデニヤなどの島嶼とより、成る。北は、アルプ山脈を境として、オーストリア、ス

面積  
人口  
ローマ

イス、フランスの三國に連り、アペニン山脈、半島の脊骨をなす。面積、人口は、ともに、わが國の三分の二に過ぎず。  
首府ローマは、半島の中部、タイバー河にまたがる。この地は、昔のローマ帝國の首府たりし所にして、宏大なる建物、そのほか、繪畫、彫刻など、歴史上の遺物多し。その東南、ネーブル

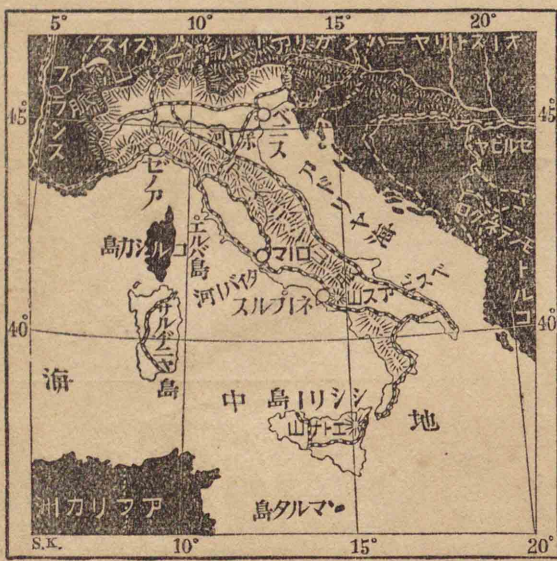
ネーブルス

ス灣の北岸に臨みて、ネーブルスあり、風景に富めり。灣の東岸なるベスピアス山は、シ

ベスピアス山

エトナ山

ゼノア



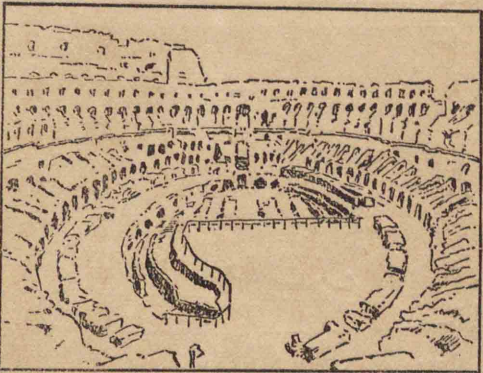
シリ島のエトナ山とともに、名高き火山なり。また、北部、地中海岸にゼノアあり、本國

ベニス

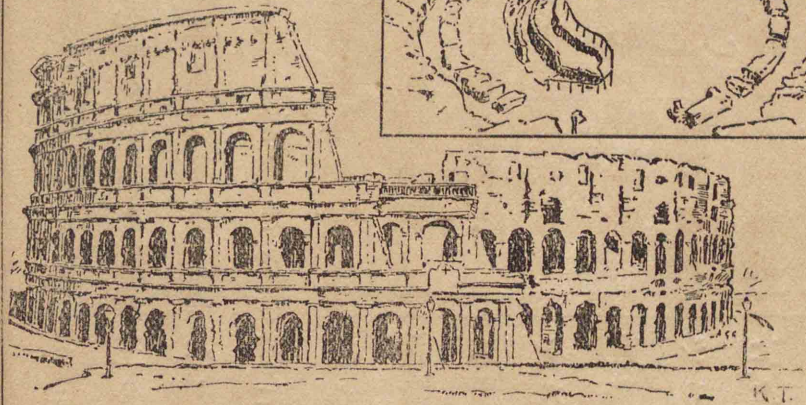
マルタ島

氣候

産物



ローマ時代の  
大劇場の  
遺蹟



第一の貿易港なり。東北部のベニスは、アドリヤ海岸に近き島にあり。  
シシリー島の南なるマルタ島は、イギリス國に屬し、地中海の要所にあたる。  
氣候は、おほむね、溫暖にして、晴天多し。産物のおもなるものには、生糸、葡萄酒、橄欖油、硫

沿革

黄<sup>だいり</sup>大理石<sup>せき</sup>等あり。

この國は、ヨーロッパ洲中の新興國なれども、その地方は、古代ローマ帝國の本國として、早く、文明に赴<sup>おもむ</sup>き、歴史上、きはめて、著名なり。ローマ帝國は、もと、ローマに興<sup>おこ</sup>り、しだいに、その版<sup>はん</sup>圖<sup>と</sup>を廣め、千九百餘年前、アジヤ、アフリカ、ヨーロッパの三大洲にまたがれる大帝國を建てたり。この大帝國は、後に、東西の二國に分れしが、西帝國、早く、亡びて、イタリヤ半島内は、久しく、四分五裂<sup>ぶんごつれつ</sup>の有様なりき。しかるに、四十餘年前<sup>紀元二千五百年</sup>サルヂニヤ王、つひに、半島を統一して、現今のイタリヤ國を興し、今や、ヨーロッパ強國の一に數へらるるに至れり。

バルカン半島諸國

位置  
バルカン半島は、アドリヤ海をへだてて、イタリヤ半島の東

海岸

地勢  
區分

産物

トルコ  
本圖の縮尺は  
二千分の一に

にあり。東南は、ダルダネル、ボスポロスの兩海峡をはさみて、小アジアに對す。南部の海岸は出入はなはだ多く、東南の海上は、島嶼に富みて、多島海の名あり。内地には、山脈連り、平地少し。半島内に、トルコ、ギリシヤ、ルーマニヤ、セルビヤ、モンテネグロの五國あり。その面積を合すれば、わが國より、やや大なり。産物には、農産物多く、羊、豚等の飼養盛なり。

トルコは、ヨーロッパ洲中、アジア人種の建てる唯一の國にして、



コンスタンチノプル  
ギリシヤ

その建國は、ほとんど、六百餘年前なりき。はじめは、小アジアの地に興りしが、しだいに、その領地を廣めて、およそ、四百五十年前(紀元三二三年)つひに、東ローマ帝國を亡し、アジア、アフリカ、ヨーロッパの三大洲にまたがれる大帝國を建てたり。かくて、一時は、國勢盛なりしが、その後、やうやく、衰へて、ギリシヤ以下の諸國、いづれも、獨立し、アフリカ洲における領地に對しても、また、その統治の實權を失ふに至れり。首府コンスタンチノプルは、もと、東ローマ帝國の首府たりし所にして、ボスポロス海峡に臨み、黒海出入の關門をなす。ギリシヤは、本洲中、もとも、早く開けたる國にして、二千三百四十餘年前、すでに、大いに、文明に達したりき。後、ローマに亡されてより、ながく、その獨立を失ひしが、今より七十餘年前



アテネ  
 ルーマニヤ  
 セルビヤ  
 モンテネグ  
 ロ

位置  
 面積  
 海岸

(紀元二千九百四)つひに、トルコより獨立せり。されど、今、なほ、國勢振はず。首府をアテネといふ。古代、ギリシヤ文明の中心なりしがゆゑに、當時の遺蹟、はなはだ、多し。  
 ルーマニヤは、トルコの東北にあり、首府をブカレストといふ。セルビヤ、モンテネグロは、ともに、トルコの西北に連る。

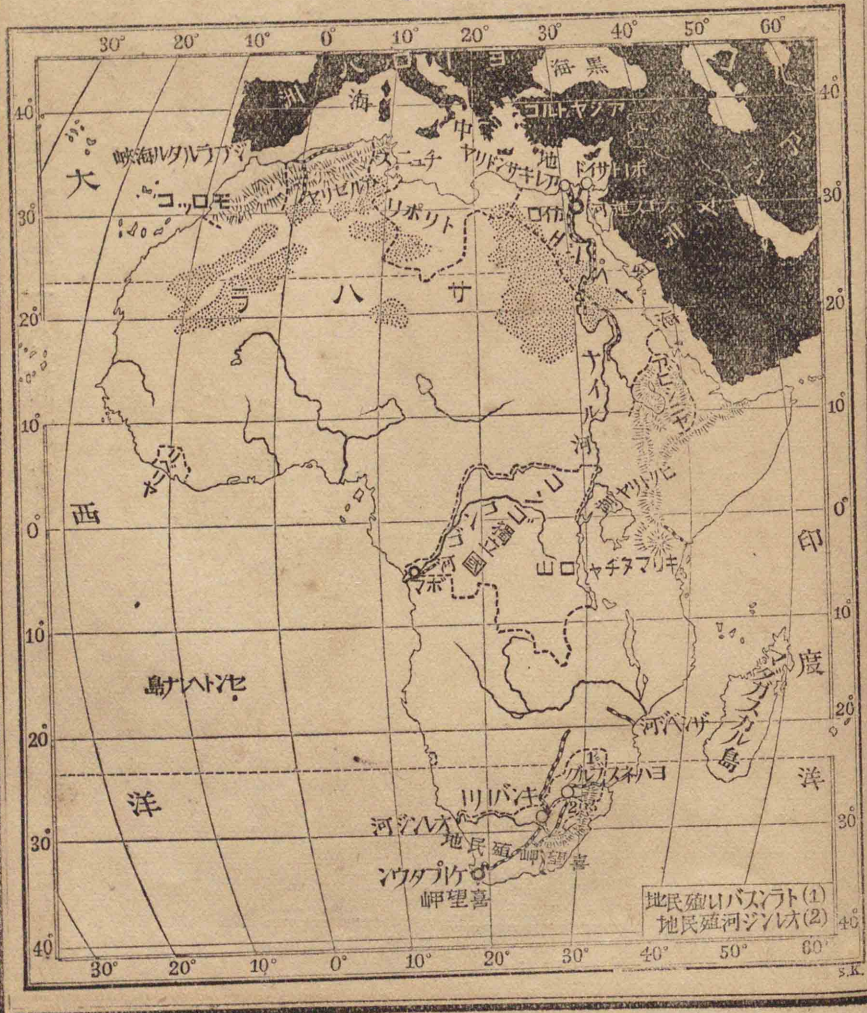
第四 アフリカ洲

アフリカ洲は、大西洋と印度洋との間にあり。北は地中海をへだてて、ヨーロッパ洲に對し、東北、わづかに、スエズ地峽によりて、アジア洲に連る。その面積は、アジア洲のおよそ、四分の三にあたり、世界第二の大陸なり。海岸には、出入、はなはだ、少く、島には、マダガスカル島のほか、また、大なるものなし。

山脈

本圖の縮尺は  
 八千萬分の一

地勢、一般に、高原をなし、海岸に沿ひて、山脈に連れり。東南部なるキリマヌデヤロ山は、高さは、



湖水

二萬尺に近く、本洲第一の高山なり。その西南の地方には、大湖多く、ビクトリヤ湖も、とも、大なり。その水、北に流れて、ナイル河の水源の一となる。

河流

ナイル河は、長さ、およそ、千五百里、本洲第一の長流なり。このほか、中部に、コンゴ、南部に、ザンベジ、オレンジ等の大河あり。



犀 馬 河 ふらじ 鳥 駝

氣候

本洲は、その地、赤道の南北にわたりて、大部分、熱帯にあり。氣候は、なほ、だ、暑く、雨季と乾季との別あれども、一般に、雨少く、南北兩部の内地には、ほとんど、無雨の地方あり。北部なるサハラの大沙漠の如きは、ことに、いちじるしく、その面積、およそ、本洲の四分の一にあたり、おほむね、荒地なり。されど、稀に、泉水涌き出で、植物の茂れる所あり。隊商は、これ等の地をたどり、駱駝に乗りて交通し、貿易に従事す。中部多雨の地方には、大森林ありて、樹木、よく、茂れり。本洲には、また、獅子、象、犀、駱駝、河馬、じらふ、駝鳥、鰐魚等の動物多し。

サハラ沙漠

生物

本洲の人口は、およそ、二億と稱せらる。北部には、ヨーロッパ人種に屬するもの多く、もっぱら、マホメット教を信じ、中部以南には、アフリカ人種に屬する黒人多し。また、南部、その他、海岸の

住民

種に屬するもの多く、もっぱら、マホメット教を信じ、中部以南には、アフリカ人種に屬する黒人多し。また、南部、その他、海岸の

沿革

要地には、近世、ヨーロッパ洲より移住したるもの少からず。本洲の東北部、ナイル河の下流地方は、太古すでに、大いに、文明に赴きたりき。また、地中海岸の地方も、早く、ヨーロッパ洲と交通して、その影響を受けしが、サハラ沙漠以南の如きは、かつて、これを探検せし者もなく、まったく、野蠻人の住所として、地理、久しく、不明なりき。しかるに、およそ、五百年前より、ホルトガル人、しだいに、西方の沿岸を探検し、つひに、四百餘年前、本洲の南端、喜望岬を回航して、印度に航路を開くに至れり(紀元二千五百五十八年)。これより、沿海の地は、大いに、ヨーロッパ人の注目する所となれり。されど、内地の地理は、なほ、不明にして、暗黒大陸の稱ありしが、百三十四十年前以來、探検家、しばしば、いたり、ことに、リビングストン、スタンリーなどによりて、はじめ

て、これを明にすることを得たり。これより、ヨーロッパの諸國は、争ひて、その地を分領し、今や、わづかに、モロッコ、リベリヤ、アビシニヤ等、三四弱小國の外は、ほとんど、みな、その權力の下にあるにいたれり。

エジプト

エジプトは、本洲の東北隅、ナイル河の下流地方にあり。名義上、トルコ國の領地なれども、その、實權、ほとんど、イギリス國に歸せり。ナイル河には、毎年夏季、洪水ありて、附近に肥えたる土を残すがゆゑに、耕作をやすくして、穀物、砂糖、綿等を産すること多し。

ナイル河

スエズ運河

東北隅なるスエズ地峽には、わが明治二年、長さ、四十里餘に及べる運河を開きて、地中海と紅海とを連ね、東西兩洋間の交通に、大いなる便利を與へたり。運河の北端に、ポートサイ

ポートサイ

カイロ

縦貫鐵道



すくんふす どみらび

ドあり。  
 首府カイロは、ナイル河  
 の下流に臨み、人口五十  
 餘萬ありて、本洲第一の  
 都會なり。その近傍に立  
 てる、ピラミッド、スフィンク  
 すは、古代文明の大遺物  
 として知らる。カイロよ  
 り、ナイル河に沿ひて、南  
 に向へる鐵道は、他日、南  
 部アフリカより北に向  
 へるものと會し、本洲を

アレキサン  
ドリヤ  
アビシニヤ

南北に縦貫せんとする豫定なり。また、西北に向ひ、地中海著名の貿易港なるアレキサンドリヤにいたる鐵道あり。  
 アビシニヤは、エジプトの東南にあり、紅海の口に近き山地を占めたる獨立國にして、山脈、國內にわたり、地勢はなほだ、高し。

トリポリ  
チュニス  
アルゼリヤ

エジプトの西方、地中海岸には、トルコ國に屬するトリポリあり。その西北に連れるチュニス、アルゼリヤの二地方は、フランス國に屬す。中にも、アルゼリヤは、フランスが、本洲において有する、はなはだ、廣き領地中、も、とも、重要な地なり。

モロッコ

モロッコは、アルゼリヤの西にあり、本洲の西北隅にあたる。アラビヤよりおこりて、一時、隆盛を極めしマホメット敎帝國の遺物として、わづかに残れる獨立國なり。

リベリヤ

リベリヤは、本洲の西南隅にある、黒人の小共和国なり。はじめ、黒人は、奴隷として、多く、アメリカ合衆國に送られしが、後に、解放を受けて、その一部のもの、ここに、歸り來りしなり。

コンゴ獨立國

本洲の中部、コンゴ河の流域に、コンゴ獨立國あり。もと、萬國アフリカ協會が、アフリカ内地において、諸國、共同に、商業、交通上の便利を得んがために、建てたる國にして、ベルギー王、これを統治す。首府をボマといふ、コンゴ河の下流にあり。

ボマ

南部アフリカ地方

本洲の南部地方は、ドイツ、ポルトガル、イギリスの三國、これを分領す。中にも、イギリス領なる喜望岬、オレンジ河、トランスバールの三殖民地、も、とも、あらはる。喜望岬殖民地は南端にあり。今より二百五十餘年前(紀元二千三百年)、オランダ人が、印度交通の便宜上、この地に殖民せしにはじまれり。しかるに、

喜望岬殖民地

オレンジ

トランスバール

ケープタウン

キンバリー

ヨハネスブルグ

マダガスカル島

セントヘレナ島

この地方には、金、金剛石などの産出多かりしかば、しだいに盛なる殖民地となり、後、つひに、イギリス領となれり。ここにおいて、オランダ人の子孫は、多く、北方内地に入りて、オレンジ、トランスバールの二國を建てしが、近年、また、戦争の結果、これ等も、イギリス國の領地となれり。ケープタウンは、喜望岬殖民地の首府にして、西南端にあり。喜望岬、その南に突出す。この地より東北に向へる鐵道は、オレンジ河を渡り、キンバリーを経て、北に進めり。キンバリーは、金剛石の産地として、あらはる。トランスバールの南部には、有名なる金の産地あり。ヨハネスブルグをその中心とす。マダガスカル島は、本洲の東南海中にあり、フランス國に屬す。また、遠く、西南海中に離れて、セントヘレナ島あり。

### 第五 北アメリカ洲

#### 總論

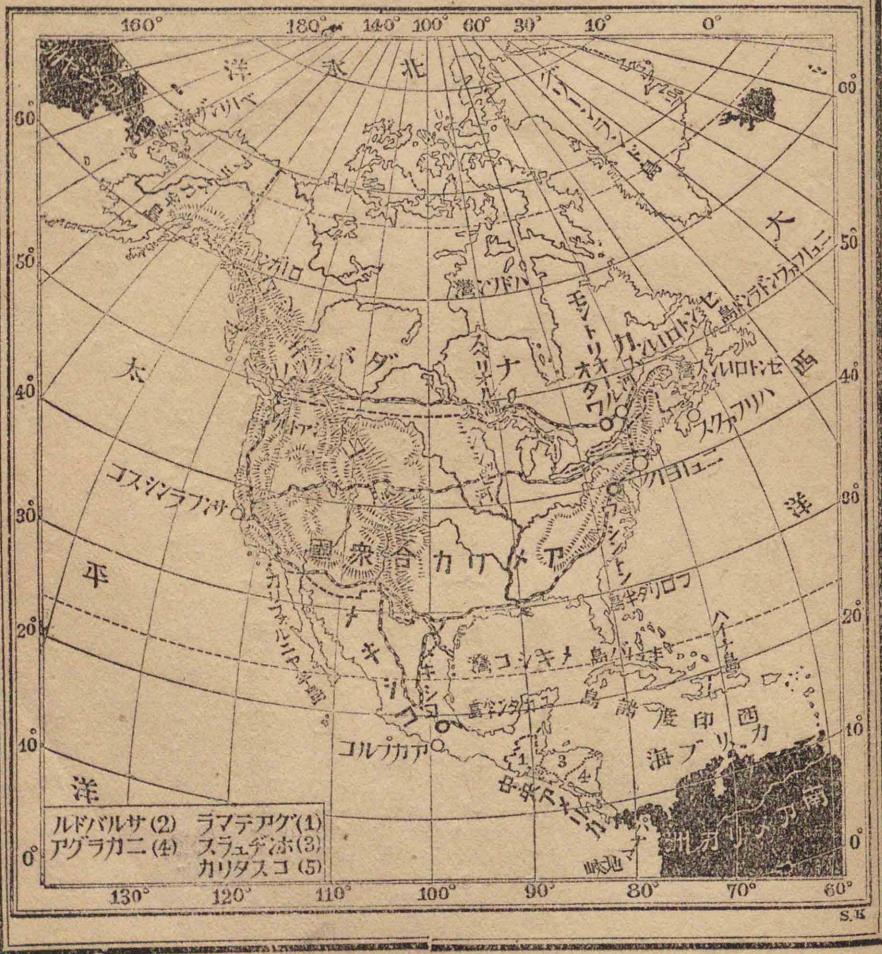
位置  
面積  
海岸

北アメリカ洲は、パナマ地峽をもつて、南アメリカ洲と南北に連り、太平洋と大西洋との間にあり。その西北は、わづかに、ベリリング海峡をはさみて、アジア洲に對し、面積、アジア洲のおそよ、二分の一にあたる。東西兩岸には、大いなる出入少く、ただ、西岸のカリフォルニア灣、東岸のセントローレンス灣を、やや、大なりとす。南北兩岸には、大いなる出入ありて、メキシコ灣、ハドソン灣など、ことに、いちじるし。メキシコ灣の東には、フロリダ、ユカタンの兩半島ありて、これを限り、その東方海上には、大小の島嶼多し。これを西印度諸島といふ。ハドソ

グリーンランド

本圖の縮尺は  
八千萬分の一

ン灣以北  
にも、島嶼  
多けれど  
も、年中、た  
いてい、氷  
結して、住  
民は、なほ  
だ、稀なり。  
世界第一  
の大島た  
るグリーン  
ランド



山脈

の如きも、わづかに、南部の海岸に、デンマルクの支配を受くる少數の住民あるに過ぎず。

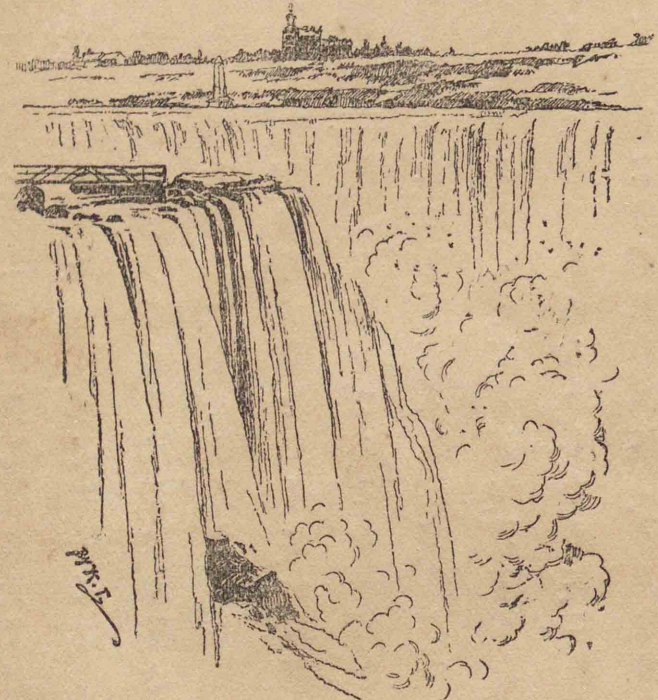
湖水

本洲の西部には、ロッキー山脈ありて、西北より斜に、東南に連り、その西方には、さらに、數多の山脈重りて、西部高地をなせり。また、東部地方にも高地あり。この兩高地の間には、大平原ありて、北は北氷洋より、南はメキシコ灣に及ぶ。その中部以北には、大湖はなはだ、多し。中にもスペリオル、ミシガン、ヒューロン、エリー、オンタリオの五湖は、もとも、名高く、たがひに、あひ連りて、末は、セントローレンス河となり、同名の灣にそそぐ。エリー、オンタリオ兩湖の間には、名高きナイヤガラ瀑布ぼくふあり。ミシシピ河は、源をスペリオル湖の西方に發し、ロッキー山脈より出づるミズーリなど、數多の支流を合せて、メキシコ

河  
流  
ナイヤガラ  
瀑布  
ミシシピ  
河

氣候

コ灣に入る。河口より、ミズーリ河の水源まで、およそ、千七百里あり、世界第一の長流なり。



ナイヤガラ瀑布

氣候は、南北の位置によりて、一様ならずれども、一般に、西岸は東岸よりも暖にして、東部地方は寒暑の差多し。また、西部の山地には、雨少く、沙漠をなせる所あり。

人民

人口は、およそ一億に達し、その大部はもと、ヨーロッパより移住せしものにして、多くは、キリスト教を信ず。その他、固有のアメリカ土人、アフリカ洲より移されし黒人などあり。北部の寒地には、エスキモー人あり。

沿革

本洲は、南アメリカ洲とともに、一に新世界といふ。四百餘年前(紀元二千五百)、コロンブス、その一部を發見せしより、このかた、しだいに、ヨーロッパ人來りて、多くの殖民地を興し、その地大いに開けたり。よつて、アジヤ、アフリカ、ヨーロッパの舊世界に對して、この名あるなり。しかるに、これ等の殖民地は、その後、多く、本國より離れ、本洲には、アメリカ合衆國、メキシコ、その他、數多の獨立共和國あるに至れり。

カナダ

位置

カナダは、北アメリカ洲北方の大部を占め、ニューファウンドランドとともに、イギリス國に屬す。面積は、わが國の二十倍に餘れども、人口は、五百餘萬に過ぎず。その西北部、ロッキー山脈中に、ローガン山あり、高さ、およそ、二萬尺、アラスカの境上にそびゆ。

バンクーバー

オタワ  
モントリオール

ハリファクス

西南隅のバンクーバーは、良港にして、わが横濱より、およそ、四千三百海里をへだつ。この地方には、本邦人の在留するもの多し。鐵道、この地より起り、ロッキー山を越え、オタワ、モントリオールなどを過ぎて、つひに、大西洋岸に達す。オタワは、カナダの首府にして、木材の取引はなほ、盛なり。モントリオールは、セントローレンス河の島上にあり、カナダ第一の都會とす。大西洋岸に、ハリファクスあり、この地方唯一の不凍港



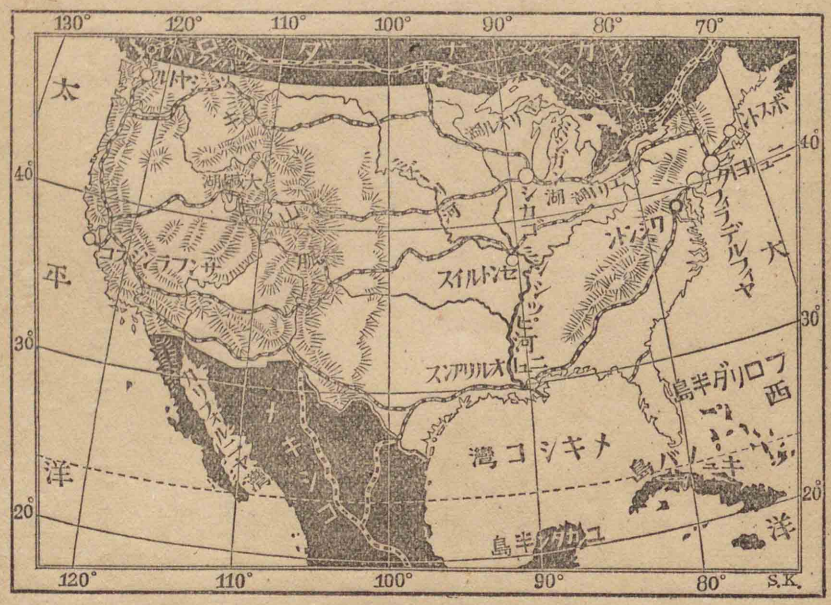
氣候  
産物  
位置  
鐵道

にして、冬季、商業、ことに、盛なり。その東北なるニューファウンドランドの近海は、世界の太漁場と稱せらる。カナダは、氣候、一般に、寒く、セントローレンス河の如きは、もとも、南にあれども、冬季、なほ、河水氷結す。輸出物には、小麥、木材、乾酪、魚類をおもなるものとし、わが國よりは、多く、茶を輸入す。

アメリカ合衆國

アメリカ合衆國は、カナダの南に連り、西南はメキシコと境す。面積、およそ、カナダに同じく、人口は、その十六倍に達す。この國の一部なるアラスカは、カナダの西北に連る。國內、交通の便、よく、備はり、太平洋岸より、ただちに、大西洋岸に通じて、大陸を横斷する數條の鐵道あり。わが國の汽船は、

サンフランシスコ  
シヤトル  
大鹹湖  
本圖の縮尺は  
五千萬分の一



横濱より、太平洋を横ぎり、西岸のサンフランシスコ、または、シヤトルにいたり、これ等の鐵道に接續す。この兩地は、いづれも、太平洋岸の著名なる港にして、本邦人の在留するもの多し。サンフランシスコは、わが横濱より、およそ、四千八百海里をへだつ、これより、鐵道によりて、西部山地の大鹹湖のほとりを過ぎ、ロッキ

シカゴ

一山脈を越え、ミシガン湖邊のシカゴにいたり、およそ六日にして、大西洋岸のニューヨークに出づべし。シカゴは、鐵道交通の中心の一にして、百七十萬の人口を有し、肉類、穀物等の取引盛なり。ニューヨークは、世界著名の貿易港にして、近時、附



街市ク | ヨ | ニ

ニューヨーク

ボストン

フィラデルフィヤ

ワシントン

セントルイス

ニューオールリアンス

産物

近の市街を合せて、人口、およそ、三百五十萬に達し、ロンドンにつげる世界第二の大都會となれり。

ニューヨークの東北に、ボストンあり、西南に、フィラデルフィヤ、ワシントンあり。ボストンの附近には、有名なるハーバード大學あり。フィラデルフィヤは、人口、およそ、百三十萬を有し、近傍に石炭、鐵の産出多く、工業はなほだ、盛にして、石油の輸出、また、多し。ワシントンは、この國の首府なり、市街清潔にして、壯麗なる建築物あり。

大平原の中央、ミシシッピ河に沿ひて、セントルイスあり。河上交通の中心となり、穀物、家畜の取引盛なり。また、その下流に、ニューオールリアンスあり、綿、砂糖の輸出港として著はる。

國內、農業、牧畜、盛に、行はれ、多く、綿、麥類、肉類等を産す。また、鐵

わが國との貿易

沿革

石炭に富み、商工の業盛なること、イギリス國とならび稱せらる。西部の山地には、金、銀、銅等の鑛物多く、アラスカにも、また、金を産す。わが國は、この國より、綿、石油、麥粉等を輸入し、この國へ、生糸、茶、羽二重等を輸出す。

この國は、もと、イギリス、フランス、イスパニヤ等の諸國の分領する地方なりき。しかるに、およそ、百三十年前(紀元二千四百年)、大西洋岸なるイギリス國の殖民地十三州の人民、本國の壓制せいを憤りて、獨立をはかり、ワシントンワシントンを全軍の總督となし、戰爭數年の後、やうやく、その目的を達して、共和國を建てたり。これより、その國勢、しだいに、盛にして、近傍の諸州、多く、これに加はり、今は、四十五州と、アラスカ、ハワイ等の六地方とを領し、近時、フィリピン群島をも、その領地となすにいたれり。

メキシコ 中央アメリカ諸國 西印度諸島

位置 位置  
海岸 海岸  
面積 面積  
住民 住民  
産物 産物  
メキシコ  
アカプルコ  
中央アメリカ

メキシコは、アメリカ合衆國の西南に接し、東は、メキシコ灣に臨み、太平洋岸には、カリフォルニヤ半島ありて、同名の灣を抱く。面積、およそ、わが國の五倍を有すれども、人口は千五百萬に過ぎず。この國は、もと、イスパニヤ國の領地なりしがゆゑに、住民には、今、なほ、イスパニヤ人の子孫、その他、イスパニヤ人と土人との雜種少からず。生業は、おもに、鑛業、農業にして、銀の輸出、はなはだ、多し。首府メキシコは、國の東南部、七千尺の高所にあり。その南にあたるアカプルコは、太平洋に臨める良港なり。

中央アメリカは、メキシコの東南に連れる、細長き地方にして、面積、メキシコの四分の一餘にあたる。ここに、グアテマラ、

ニカラグア運河  
 西印度諸島  
 キューバ島  
 ハイチ島  
 諸國の領地

サルバドル、ホンデュラス、ニカラグア、コスタリカの五小共和國あり。これ等の諸國も、またかつて、イスパニヤ國の領地なりき。ニカラグア國にニカラグア湖あり。この湖を利用して、左右の兩洋を連ねんとするニカラグア運河の計畫あり。西印度諸島は、メキシコ灣口より、東南に向ひて、カリブ海を限り、南アメリカ洲にいたるまで、飛石の如くに、ならべり。その中、キューバ、ハイチ、もとも、大なり。キューバ島は、もと、イスパニヤ國の領地なりしが、アメリカ合衆國の助により、近時、獨立して、共和國となれり。島中、多く、砂糖、煙草を産す。ハイチ島は、二小共和國に分る。そのほかの諸島は、イギリス、フランス、アメリカ合衆國等の諸國、これを分領す。

位置

面積

本圖の縮尺は  
八千萬分の一

### 第六 南アメリカ洲

南アメリカ洲は、パナマ地峽によりて、北アメリカ洲に連り、



その大部は南半球にあり。面積は、北アメリカ洲より、やや狭し。アンデス

山脈  
河流

氣候

住民

沿革

山脈、本洲の西部を、南北にわたり、東南部にも、また、山脈重れり。その間に大平原あり。アマゾン、ラプラタ等の大河、この平原を流れて、いづれも、大西洋にそそぐ。

本洲は、大部、熱帯中にあれども、氣候、はなはだしく、暑からず。西岸地方と南部とは、一般に、雨少けれども、アマゾン河の上流地方は、これに反して、その量、はなはだ、多し。住民には、イスパニヤ人、ホルトガル人の子孫、その他、これ等の人人と、アメリカ人種に屬する土人との雜種多く、土人の數、また、少からず。人口、およそ、四千萬にして、これを、面積に比すれば、その數、はなはだ、少く、土地の拓殖、たくしやくいまだ、あまねからず。

本洲の地は、もと、たいてい、イスパニヤ、ホルトガル兩國の領地なりしが、今より八九十年前、いづれも、獨立して、北部のギ

コロンビヤ

パナマ運河  
ボゴタ

ベネズエラ  
オリノコ河

カラカス

ギヤナ

ブラジル  
面積

ヤナを除くほかは、分れて、コロンビヤ、ベネズエラ、ブラジル、エクアドル、ペルー、ボリビヤ、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン、チリの十共和國となれり。

コロンビヤは、本洲の西北隅にあり。西北部なる、パナマ地峽は、その幅、わづかに、十五里に過ぎず。この地峽を掘り割りて、左右の兩洋を連ねんとする、パナマ運河の計畫あり。首府ボゴタは海面上、八千五百尺の高所に位す。

ベネズエラは、コロンビヤの東に接し、オリノコ河、國の中部を東流す。首府カラカスは、カリブ海岸に近き高所にあり。

ベネズエラの東南に接するギヤナは、イギリス、オランダ、フランスの三國に分領せらる。

ブラジルは、本洲面積のおよそ、二分の一を有する國にして、

人口	わが國の二十倍にあたり。人口、およそ千五百萬ありて、ポルトガル人の子孫、もとも多く、おもに國の東南部に住す。住民は農業を主とし、コーヒー、砂糖、綿等の産あり、また、木材、金、金剛石の産出少からず。國の北部には、アマゾン河あり、長さ、千四五百里に及び、水量はなほだ多く、遠く、上流地方まで、汽船を通ずべし。されど、その地方、氣候あしく、大森林いたる所
産物	にありて、住民少し、首府リオデジャネイロは、東南の海岸にありて、同名の良港に臨む、コーヒーの輸出盛なり。
アマゾン河	アマゾン河の上流地方に、エクアドル、ペルー、ボリビヤの三國あり。エクアドル、ペルーの二國は、太平洋に沿ひ、ボリビヤは内地に位す。エクアドルの首府をキトーといふ。赤道、この地を過ぐれども、九千餘尺の高所にあるがゆゑに、氣候溫和
リオデジャネイロ	
エクアドル	
ペルー	
ボリビヤ	
キトー	

リマ	なり。ペルーの首府をリマといふ。ペルーとボリビヤとの境
チチカカ湖	にあるチチカカ湖は、本洲の最大湖にして、一萬二千餘尺の高所にあり。
パラグアイ	パラグアイ、ウルグアイの二國は、ともに、ブラジルの西南にある小國なり。パラグアイには、パラグアイ茶を産す。ウルグアイの首府
ウルグアイ	モンテビデオは、大西洋岸にある良港なり。
モンテビデオ	南部には、アルゼンチン、チリの二國あり。チリは、太平洋岸の
アルゼンチン	細長き地方を占め、アンデス山脈をはさみて、アルゼンチン
チリ	と背中あはせをなす。その境上にあるアコンカグア山は、高
アコンカグア山	さ、およそ二萬三千尺に及び、世界最高の火山なり。アルゼン
ブエノスアイレス	チンの首府ブエノスアイレスは、ラプラタ河口に臨み、人口
産物	八十五萬、本洲第一の都會なり。國內、羊毛、皮類、穀物等の産多

サンチアゴ  
バルパライソ

第ニ 南アメリカ 五洲

し。チリの首府をサンチアゴといふ。バルパライソは、その西  
北にあり、この國第一の貿易港にして、ブエノスアイレスと  
鐵道を通じ、銅、チリ硝石の輸出多し。

### 小學地理三終

小學地理三  
定價金八錢

明治三十六年十一月四日 印刷  
明治三十六年十一月六日 發行  
明治三十七年一月十九日 翻刻印刷  
明治三十七年一月廿二日 翻刻發行

著作權所有

著作兼  
發行者

文部省

翻刻  
發行者

大橋新太郎  
東京市日本橋區本町三丁目八番地

印刷者

松本 魁  
東京市京橋區宗十郎町十五番地

印刷所

合資 東京國文社  
東京市京橋區宗十郎町十五番地

東京市日本橋區新右衛門町拾六番地

發行所

日本書籍株式會社

明治三十三年一月十四日  
文部省檢査濟

文庫  
04  
763

広島大学図書  
2000302763  
